

の生活不安を抱えており、国、県市の早急の復旧対応が望まれています。

【第3班 住宅・公共施設】

公共施設（胆沢総合体育館、胆沢文化創造センター）、仮設住宅（胆沢区愛宕地内、衣川区石生地内）及び被災居宅（胆沢区下鹿岳山<sup>ひがやま</sup>地区内、衣川区天田<sup>あまだ</sup>地内）の被災状況を調査しました。文化センターは空調施設等の被害が大きく、体育館は照明灯の落下被害で、人命にかかわり万全な被害防止策が必要です。仮設住宅は手狭ですが、設備は一応整っており当面の生活は心配ないものと思われます。今後、生活再建の具体的対策が急



天井が落下したシーリングルーム

がれます。被害住宅については、被害の性格がそれぞれ異なり、胆沢区若柳<sup>ももやなぎ</sup>下<sup>しも</sup>鹿<sup>か</sup>合<sup>あ</sup>地<sup>ち</sup>内<sup>うち</sup>の半壊とさされた住宅については、宅地被害が伴い、建て直すことも出来ない状況です。

【第4班 道路】



大規模に崩落した市道（衣川区）

特に被害の大きい衣川区4ヶ所胆沢区1ヶ所の道路関係を調査しました。調査箇所への道中、車中からも道路路肩、崖、山肌の法面崩落があり、今までにない強い地震であることがうかがえました。橋等の被害は、橋台は外側に傾斜し道路面が盛り上がり、道路等は山側法面が大規模に崩落する等、軟弱地盤に被害が集中し、通行止

となっており早期の復旧が必要であると感じました。

【第5班 水道施設】

調査場所

胆沢区石淵簡易水道

衣川区北股浄水場

上立沢水源及び噌味配水地

国、県、市道および林道損壊に

より仮設配管されている場所は、道路復旧がされるまで管の埋設ができないことから国道397号線県道37号線の配管復旧の見通しがたっていないこと、北股浄水場の復旧稼動が九月末頃になること、増味配水地への濾過装置の設置が必要になったこと等の説明がありました。



濾過装置が必要となった<sup>そうみ</sup>噌味配水地（衣川区）

議  
会  
日  
誌

7月29日 平成20年第3回臨時会、議

例検討部会

調査特別委員会幹事会

調査特別委員会現地調査、

岩手・宮城内陸地震等被害  
教育厚生常任委員会

調査特別委員会現地調査

18日 組合議会・各種委員会出席

被害調査特別委員会幹事会

21日 岩手・宮城地震等被害調査

25日 教育厚生常任委員会

条例検討部会

平成25年第3回定例会  
9月4日

会期中に開催された委員会

競馬事業調査特別委員会 1回

北上川治水対策特別委員会  
1回

被害調査特別委員会

2回

1回

3回

建設環境常任委員会  
3回

議 長 佐々木 一

条例検討部会